

観光立国の実現は地方(地域)から

旅館業界2017年の展望と課題

旅館2団体トップ対談



全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会 会長

北原 茂樹氏



日本旅館協会 会長

針谷 了氏

科学的旅館・ホテル経営に脱却を

人材面では外国人労働者の研究を進めている。針谷 現場の切実な声として、人手が足りない。特に地方において足りない。だから、お客さまを受け入れられない、というところまで来ています。日本の人口が減っていく中で、限られた人材の取り合いになっていて、給料が安い旅館業には、なかなか人が回ってこない。待遇の改善を合わせて、外国人労働者の受け入れは進んで通れない。われわれと全連連の4団体で協議会を作り、研究を始めたことだ。

北原 民泊はあらゆる規制を見直し、参入への障壁を減らして、という政府の基本政策のもとに進められている。国策という意味合いが強い。ここに来て民泊の問題が出てきている。民泊が認められるようになったら、小規模旅館は競争が激しくなり、かなり疲弊する。そして単価が下がるといふことになれば、生産性向上の面からも、非常にマイナスだ。

われわれ旅館・ホテル業界並みの、イコールフットイングなことをやっていたら、われわれ業界は立ち行かなくなる。金が出ないという状況が各地で起きている。各地で戦っている。工場のまま、古い建物を取り壊して、コストを下げる。努力をしなければならぬ。2017年が開けた。今年はどんな1年になるか。

北原 今、デジタル社会というか、ウェブを通してほとんどが情報伝達されている。このデジタルネットワーク社会に必要なのは、次代の経営者を育てなければならぬ。旅業の担い手は、若手経営者の大きな組織がある。まず、ここで人材を育てることだ。異業種からもわれわれの組織に入ってもらって、われわれが持つ資産を有効に活用するアイデアを出してもらいたい。

「民泊新法」最後まで粘り強く強く交渉

「民泊新法」最後まで粘り強く交渉。針谷 愛媛と香川。ただ、公営宿泊施設に限っての公表、民間の施設は先延ばしにしていた。北原 巨額の費用がかかる仕事を、国が法律の名の下にやらせるというならば、やはりそれなりの配慮をしていただかなければならぬ。事実上制度があっても実際には補助金も、公庫による貸付も、旅館がつかず、まともに元も子もない。

「民泊新法」最後まで粘り強く交渉。北原 旅業を強くしていかねばならぬ。現場の社員による改善活動。製造業は当たり前のようになっている。従業員20人規模以上であれば、活動。製造業は当たり前のようになっている。従業員20人規模以上であれば、活動。製造業は当たり前のようになっている。従業員20人規模以上であれば、活動。

「民泊新法」最後まで粘り強く交渉。北原 旅業を強くしていかねばならぬ。現場の社員による改善活動。製造業は当たり前のようになっている。従業員20人規模以上であれば、活動。製造業は当たり前のようになっている。従業員20人規模以上であれば、活動。

「民泊新法」最後まで粘り強く交渉。北原 旅業を強くしていかねばならぬ。現場の社員による改善活動。製造業は当たり前のようになっている。従業員20人規模以上であれば、活動。製造業は当たり前のようになっている。従業員20人規模以上であれば、活動。

科学的旅館・ホテル経営に脱却を。針谷 よい人材が集まらないと産業は成長しない。われわれ旅館業も待遇を含めて、さまざまな改善をしなければならぬ。長時間労働や休日出勤をなくす。給料も上げる。そのためには生産性を上げなければならぬ。

科学的旅館・ホテル経営に脱却を。針谷 よい人材が集まらないと産業は成長しない。われわれ旅館業も待遇を含めて、さまざまな改善をしなければならぬ。長時間労働や休日出勤をなくす。給料も上げる。そのためには生産性を上げなければならぬ。

科学的旅館・ホテル経営に脱却を。針谷 よい人材が集まらないと産業は成長しない。われわれ旅館業も待遇を含めて、さまざまな改善をしなければならぬ。長時間労働や休日出勤をなくす。給料も上げる。そのためには生産性を上げなければならぬ。

科学的旅館・ホテル経営に脱却を。針谷 よい人材が集まらないと産業は成長しない。われわれ旅館業も待遇を含めて、さまざまな改善をしなければならぬ。長時間労働や休日出勤をなくす。給料も上げる。そのためには生産性を上げなければならぬ。

科学的旅館・ホテル経営に脱却を。針谷 よい人材が集まらないと産業は成長しない。われわれ旅館業も待遇を含めて、さまざまな改善をしなければならぬ。長時間労働や休日出勤をなくす。給料も上げる。そのためには生産性を上げなければならぬ。

東京の全国旅館会館で